

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	音楽 I	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	MOUSA 1
出版社	教育芸術社
副教材等	—
出版社	—

2 学習の目標

1	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
3	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業中の活動への積極的な参加・教師の発問に対する応答・授業への出席状況
個別課題の達成状況	A	A	B	課題へ取り組む姿勢や達成度
グループ活動	B	A	A	グループ活動への積極的な参加
作品の完成度	A	B	C	作品の完成度

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	ヴォイストレーニング 日本の歌 リズムアンサンブル 和楽器に親しもう J-pop や歌謡曲を歌おう 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して独唱する。 ・リズム表現を通して、音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。 ・和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、表現を工夫して演奏する。 ・イメージをもって歌うとともに、自分や社会と音楽との関わりを考える。 ・西洋音楽を鑑賞する。
2 学 期	郷土の民謡と芸能 世界の音楽 合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音楽を鑑賞したり、歌ったりしながら、その音色の表現の特徴を理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して独唱する。 ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱する喜びを味わう。
3 学 期	舞台芸術 アンサンブル活動	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のあらすじや、歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫してアンサンブルをする喜びを味わう。